

No. 516
2014年
7月

OR学会だより

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-13-5 サン・チカビル 7F
電話 (03) 3851-6100 Fax (03) 3851-6055
<http://www.orsj.or.jp/>

● 第5回「近藤賞」候補者募集

「近藤賞」は、2007年日本OR学会創立50周年事業の一環として創設されたものであり、ORの研究、普及または教育に傑出した業績を挙げた個人（またはグループ）を表彰し、わが国のORの発展に資するとともに、広くこの分野の社会における認知度を高めることを目的としています。

このたび、下記の要領で第5回「近藤賞」受賞候補者を募集いたしますので、ご推薦くださいますようお願いいたします。

推薦方法：日本OR学会個人正会員および名誉会員による推薦

提出書類：推薦理由書、被推薦者の略歴および主要業績一覧表（書式自由）

推薦対象者：ORの研究、普及、または教育のいずれかの分野で傑出した業績を挙げた日本人、または日本を主たる活動の場とする人（グループも可）

推薦締切：2014年9月30日

推薦書送付先：日本OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

* 受賞者は近藤賞選考委員会において決定し、2015年春季研究発表会で表彰を行い、受賞記念講演をしていただく予定です。

なお、「近藤賞」は2年に1回程度の頻度で募集を行う予定です。

詳しくは学会WEB

<http://www.orsj.or.jp/whatisor/award10.html>

<http://www.orsj.or.jp/~oldweb/Members/kondou.pdf> をご覧ください。

(表彰委員会)

● 2014年秋季シンポジウム（第72回）

日時：2014年8月27日（水）13:00~17:30

場所：北海道科学大学（札幌市手稲区前田7条15丁目4番1号）

http://www.orsj.or.jp/~nc2014f/?page_id=27

テーマ：「メタヒューリスティクスの新たな挑戦」

シンポジウムHP：

http://www.orsj.or.jp/~nc2014f/?page_id=5

実行委員長：加地太一（小樽商科大学）

プログラム：（敬称略）

13:00~13:05 開催の挨拶

13:05~14:05

講演1「実践的問題解決のためのメタヒューリスティクス」

講師：柳浦陸憲（名古屋大学大学院情報科学研究科）

概要：多くの現実問題を組合せ最適化問題として定式化できるが、NP困難問題に代表されるように、入力データが大きくなると現実的な時間で厳密な最適解を得ることが困難であるものがほとんどであると言っても過言ではない。このような問題に対して現実的な時間で精度の高い解を得る実用的な解法として、メタヒューリスティクスは広く認知されるようになってきている。本講演では、メタヒューリスティクスの基本的な考え方を概説したのち、問題解決のための実践的な解法をメタヒューリスティクスに基づいて作成する試みについて紹介する。

14:10~15:10

講演2「多点探索の最前線」

講師：永田裕一（徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部）

概要：NP困難問題に代表されるような難しい組合せ最適化問題に対して、メタ戦略に基づく近似解法が広く利用されている。メタ戦略の枠組には1つの探索点を動かしながら探索を行う手法（一点探索）と複数の探索点を用いて探索を行う手法（多点探索）がある。本講演では多点探索型メタ戦略の中でも遺伝的アルゴリズムとメメティックアルゴリズムに焦点を当て、これらの枠組みを用いて高性能アルゴリズムを構成するための基本的な考え方を、具体例を交えて紹介する。

15:25~16:25

講演3「実際の数理最適化問題を瞬時に解くための実装技術」

講師：久保幹雄（東京海洋大学大学院海洋工学系流通情報工学）

概要：本稿では、実際問題であらわれる難しい最適化問題を短時間で解くための方法論について論じる。最適化プロジェクトを路頭に迷わせないためには、次々とクライアントから要求される付加条件や変更条件を柔軟に取り扱えること、修正が短時間で完了すること、可視化やデータ解析が容易であることが必要である。ここでは、単なる哲学ではなく、Python 言語による具体的な実装例を用いてコツを伝授する。

16:30~17:30

講演4「ニューラルネットワークとメタヒューリスティクス」

講師：山本雅人（北海道大学大学院情報科学研究科）

概要：近年の計算機性能の向上によって、ニューラルネットワークの重み更新にメタヒューリスティクスを適用する進化型ニューラルネットワークの研究が見直されてきている。その応用範囲は、この研究が注目されるようになったロボット制御の問題だけでなく、OR分野の基本的問題であるジョブショップスケジューリング問題など多様な分野へと広がっている。本発表では、応用事例を紹介しながら今後の方向性について議論する。

講演時間：1人当たり質疑応答を含めて1時間

備考：翌日の8月28日、29日にわたってOR学会秋季研究発表会が開催されます。

事前振込み参加費：(8/15締切)

正・賛助会員：3,000円

学生会員：1,000円

非会員：4,000円

非会員の学生：事前振込みはなし。

*非会員の学生の方は、当日受付にて学生会員と同額で参加できます。

*7月号綴込みの振込用紙をご利用ください。

正会員特典利用：(8/15締切)

2014年度年会費納入済みの個人正会員は、2014年春・秋シンポジウムのうち1回無料で参加できます。7月号綴じ込みの振込用紙に○、またはメールにてお申込みください。事前の申し込みが必要です。

当日受付参加費：

正・賛助会員：当日4,000円

学生会員：当日2,000円

非会員：当日5,000円

非会員の学生：当日2,000円

*学生の方は、当日受付にて学生証提示が必要となります。

協賛学会：(正会員と参加費同額)

- ・公益社団法人 日本経営工学会 (JIMA)
- ・社団法人 日本品質管理学会 (JSQC)
- ・日本信頼性学会 (REAJ)
- ・研究・技術計画学会 (JSSPRM)
- ・一般社団法人 日本設備管理学会 (SOPE-J)
- ・一般社団法人 プロジェクトマネジメント学会 (PM)

参加費関連問合せ先：OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

● 2014年秋季研究発表会

日程：2014年8月28日(木)、29日(金)

場所：北海道科学大学(札幌市手稲区前田7条15丁目4番1号)

実行委員長：大堀隆文(北海道科学大学)

テーマ：「ORの普及」

大会HP：<http://www.orsj.or.jp/~nc2014/>

特別講演：

- ・平井広志氏 (OR学会「研究賞」受賞者、東京大学)
「多品種流と距離空間」
- ・腰塚武志氏 (前OR学会会長、南山大学)
「都市空間のモデル化—都市のOR40年—」
- ・藤井純一氏 (前近畿大学教授)
「スポーツビジネスへの挑戦」

チュートリアル講演：

- ・藤澤克樹氏 (九州大学)
「グラフ解析・ネットワーク分析入門」

オーガナイズドセッション：

「サービスサイエンスとOR」

オーガナイザー：北守一隆(北海道科学大学)

- ・「サービス・サイエンス (SSME) における知的シミュレーション基盤」北守一隆(北海道科学大学)
- ・「消費者カテゴリーについての一考察」角田美知江(北海学園大学)
- ・「運送業における情報サービス—人的コミュニケーションを重視している事業協同組合における求貨求車システムの事例研究—」関 哲人(北海学園大学)
- ・「サービス品質に関わる情報品質—SCM as a Serviceの視点から—」青山ゆう子(北海道大学)

事前振込み参加費：(8/15締切)

正・賛助会員：6,000円

学生会員：1,000円

非会員：8,000円

非会員の学生：事前振込みはなし。

*非会員の学生の方は、当日受付にて学生会員と同額で参加できます。

*7月号綴込みの振込用紙をご利用ください。

当日受付参加費：

正・賛助会員：当日7,000円

学生会員：当日2,000円

非会員：当日10,000円

非会員の学生：当日2,000円

*学生の方は、当日受付にて学生証提示が必要となります。

登壇料：非会員の方が発表する場合、参加費と別途、2,000円を当日受付にてお支払いください。

懇親会：2014年8月28日(木) 19:00～

場所：サッポロビール園(札幌市東区北7条東9丁目2-10)

事前振込み参加費：5,000円

当日受付参加費：6,000円

見学会：2014年8月30日(土)

空知管内砂川・滝川方面(松尾ジンギスカン、ワイナリー他)

見学会参加費：2,000円(事前振込みなし。当日受付のみ)

賛助会員の方へ：

1口につき1名様が研究発表会に無料でご参加できます。賛助会員受付にて名刺をご提示ください。(事前の参加連絡は不要です。)ご参加者様については、社内で調整をお願いいたします。ご欠席の場合は研究発表会アブストラクト集をお送りしております。

企業展示：(受付中)

(株)NTTデータ数理システム

(株)構造計画研究所

(株)オクトーバー・スカイ

協賛学会：(正会員と参加費同額)

- ・公益社団法人 日本経営工学会 (JIMA)
- ・社団法人 日本品質管理学会 (JSQC)
- ・日本信頼性学会 (REAJ)
- ・研究・技術計画学会 (JSSPRM)
- ・一般社団法人 日本設備管理学会 (SOPE-J)
- ・一般社団法人 プロジェクトマネジメント学会 (PM)

発表関連問合せ先：日本OR学会2014秋季研究発表会実行委員会 E-mail: nc2014f@orsj.or.jp

参加費関連問合せ先：OR学会事務局
E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

● 2015年春季シンポジウム (第73回)

日 程：2015年3月25日(水)

場 所：東京理科大学 神楽坂キャンパス

● 2015年春季研究発表会

日 程：2015年3月26日(木)、27日(金)

場 所：東京理科大学 神楽坂キャンパス

実行委員長：矢部 博(東京理科大学)

● 研究部会・グループ開催案内

【サービス・イノベーションへの数理的アプローチ】

・第6回

日 時：2014年7月7日(月) 16:00～18:15

場 所：名城大学名駅サテライト (MSAT)

名古屋市中村区名駅3-26-8 KDX名古屋駅前ビル13階(JR東海「名古屋」駅から、ユニモール地下街4番出口を出てすぐ)

テーマと講師：

- (1)「実践から学ぶ女将のおもてなし経営」
姜 聖淑(帝塚山大学経営学部)
- (2)「空間情報と生育シミュレーションに基づく農業情報サービス」
本多 潔(中部大学中部高等学術研究所)
- (3)「サービス財と有形財とのコラボレーション戦略」
雑賀憲彦(名城大学都市情報学部)

問合せ先：雑賀憲彦(名城大学都市情報学部)

Tel: 0574 (69) 0122

E-mail: nsaiga@urban.meijo-u.ac.jp

*参加費無料・事前申込は不要です。

【待ち行列】

・第248回

日 時：2014年7月19日(土) 14:00～17:00

場 所：東京工業大学大岡山キャンパス西8号館(W) 809号室

テーマと講師：

- (1)「確率モデルとスーパーコンピュータ」
佐藤賢斗(東京工業大学)
- (2)「データセンターにおける消費電力の待ち行列解析」

Phung-Duc Tuan(東京工業大学)

問合せ先：井家 敦(神奈川工科大学)

E-mail: inoie@nw.kanagawa-it.ac.jp

部会 URL : <http://www.orsj.or.jp/queue/>

〔OR普及のためのモチベーション教育〕〔複雑系とOR〕

・第7回 合同部会

日 時：2014年7月31日(木) 18:00~20:00

場 所：小樽商科大学サテライト

テーマと講師：

(1) 「イベント情報推薦システムの開発と運用」

川村秀憲 (北海道大学)

(2) 「観光情報学とOR」

長尾光悦 (北海道情報大学)

懇親会：20:00~(場所：未定(札幌駅周辺))

問合せ先(両部会主査・幹事)：

大堀隆文 E-mail: oohori@hus.ac.jp

加地太一 E-mail: tkaji31@gmail.com

木下正博 E-mail: kino@hus.ac.jp

西川孝二 E-mail: nishikawa@hus.ac.jp

〔意思決定法〕

・第29回

日 時：2014年8月4日(月) 16:00~18:00

場 所：名城大学名駅サテライトMSAT会議室(名古屋市中村区名駅3-26-8 名古屋駅前桜通ビル13階)

テーマと講師：

(1) 「三角関数インターフェイスを用いた対比較法の分析と拡張」

水野隆文(名城大学)

(2) 「職場モビリティ・マネジメントの推進が従業員の意識に与える効果について」

懇親会：研究会終了後、名古屋駅周辺で開催(会費4,000円程度)7月28日(月)までにお申し込みください。

懇親会参加申込み及び問合せ先：田地宏一(名古屋大学)

E-mail: taji@nuem.nagoya-u.ac.jp

● 新宿OR研究会案内

〔第340回 新宿OR研究会〕

日 時：2014年7月15日(火) 12:00~14:00

場 所：東天紅会議室(新宿センタービル53F)

講 師：山本武明氏((株)ジャパンコミュニケーション取締役会長)

テーマ：「防災意識の啓蒙と防災拠点としての小型救命艇を含む自然と人のテーマパーク」

参加費：3,000円(昼食代を含みます。事前にメールにてお申し込みください。)

問合せ先：日本OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

● 他学協会協賛案内

他学会等が主催する大会やシンポジウムで当学会が協賛しているものについては、主催学会の会員と同じ費用で参加できる場合があります。詳しくは、各学会にお問合せください。

・標準化と品質管理全国大会2014

日 程：2014年10月14日(火)~15日(水)

場 所：都市センターホテル(東京都千代田区平河町2-4-1)

主 催：一般財団法人日本規格協会

URL：http://www.jsa.or.jp/info_detail/zenkoku2014.asp

● 教員公募案内

・神奈川大学工学部 情報システム創成学科

学部学科：工学部情報システム創成学科

専門分野：情報学基礎(統計数学や情報数学など)

担当科目：当学科における講義、演習ならびに研究指導の科目(本学HPに掲載している当学科教育課程表をご参照ください)

職名：教授または准教授

募集人員：1名

応募資格：博士の学位を有し、教育と研究ならびに学生の指導を熱意をもってでき、大学院の教育と研究指導を担当できる者。

提出書類：(1)履歴書1部、(2)教育研究業績書、(3)主要な著書および論文抜刷、(4)研究概要、(5)研究計画、(6)教育に対する抱負、(7)推薦者リスト
* (1)履歴書および(2)教育研究業績書の本学所定書式は、以下よりダウンロードのこと。<http://www.kanagawa-u.ac.jp/employment/professor/fulltime/>

応募締切日：2014年9月30日(火) 必着

選考方法：(1)第一次選考：書類審査、(2)第二次選考：面談(教育・研究等についてのプレゼンテーションを含む)

採否通知：2015年1月末までに通知

採用予定日：2015年4月1日

待 遇：採用時における本学規程によります

書類提出先：〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3丁目27番1号

神奈川大学学長室気付工学部長 林 憲玉 宛

Tel: 045-481-5661(代表)

問合せ先：神奈川大学工学部情報システム創成学科主任 今井崇雅

Tel: 045-481-5661 [内線：3725]

Email: imai@kanagawa-u.ac.jp

2014年度 第30回FMESシンポジウム 「ビッグデータ利活用と価値創造」

主催：経営工学関連学会協議会

共催：公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会，公益社団法人日本経営工学会，一般社団法人経営情報学会，研究・技術計画学会，日本信頼性学会，一般社団法人日本設備管理学会，一般社団法人日本品質管理学会，一般社団法人プロジェクトマネジメント学会（順不同）

協賛：大学共同利用機関法人情報・システム研究機構統計数理研究所（文部科学省委託事業「データサイエンティスト育成ネットワークの形成」）

慶應義塾大学大学院理工学研究科・SDM研究科・経営管理研究科（文部科学省委託事業「スキルと実践を重視したビッグデータ・イノベーション人材育成プログラム」）

開催趣旨：

インターネットの普及とIT技術の進化によって生まれた大容量かつ多様なデータ，いわゆる『ビッグデータ』とその活用が注目されています。経営工学関連学会協議会（FMES）においても，ビッグデータの現状を理解し，その利活用について議論していくことは意義があります。第30回FMESシンポジウムでは「ビッグデータ利活用と価値創造」をテーマにして，ビッグデータやデータサイエンスに造詣が深い方に，各々の専門分野の視点から，ビッグデータ時代にどのように向き合うか，どうすれば価値創造につながるか，さらに，ビッグデータを活用できる人材をどう育成するかなどについて講演いただきます。

1. **日時**：2014年7月11日（金）13:00～17:05

2. **会場**：日科技連 千駄ヶ谷本部ビル 1号館3階講堂

http://www.juse.or.jp/about/location_map1.html

3. **定員**：150名

4. **プログラム**（敬称略）

13:00～13:10 開会挨拶 FMES会長 渡邊一衛

13:10～14:00 講演1：「我が国におけるデータサイエンティストの現状と展望」

丸山 宏（統計数理研究所 副所長 教授）

14:10～15:00 講演2：「製造業におけるデータ・ドリブン分析の適用事例」

吉野 睦（(株)デンソー品質管理部TQM推進室担当次長）

15:10～16:00 講演3：「ビッグデータとビジネス・アナリティクス」

中川慶一郎（(株)NTTデータ数理システム 取締役）

16:10～17:00 講演4：「ロングテール時代における，サービスを高度化させるデータの活用」

森 正弥（楽天(株) 執行役員 兼 楽天技術研究所長 兼 ビッグデータ部副部長）

17:00～17:05 閉会挨拶 日本品質管理学会（幹事学会）会長 中條武志

5. **資料代**：4,000円（学生1,000円）税込（資料代は開催当日受付にてお支払いください。）

6. **申込み先**：一般社団法人日本品質管理学会事務局

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南1-2-1 （一財）日本科学技術連盟内

TEL 03-5378-1506 FAX 03-5378-1507 E-mail: apply@jsqc.org

Web申込み：<http://www.jsqc.org/q/news/2014/07/11/order85/order.html>

7. **問合せ先**：日本OR学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

2014年度年会費納入のお願い

2014年度年会費の請求書を11月に発送いたしました。納入期限は2013年12月末までとなっておりますので、お早めにご入金くださいますようお願いいたします。

大学または、会社宛の請求書が必要な場合は、以下をメールにて事務局にお知らせください（会員氏名、請求金額、請求書宛名（個人名／法人名／法人名＋個人名）請求書の日付指定の有無、様式の指定…請求書／見積書／納品書、指定用紙など）。

なお、2013年度・2014年度は、「学生会員年会費無料化キャンペーン」中につき、学生会員の方には、請求をいたしません。

*預金口座自動振替の方（正会員のみ）は2014年1月20日に引き落とし済みです（新規の受付はしていません。）

*OR学会の事業年度は3月～翌年2月までです。

学生会員年会費無料化キャンペーン

① 学生で、かつ指導教員が正会員の方は、2013・2014年度の学生会員年会費5,000円は無料となります。新入会の場合は、WEBより入会申込みの手続きをし、入会金600円を振り込んでください。（入会金のお支払いをもって、入会手続き完了となります。）

② 学生の方は指導教員様に事務局へのメール送付を依頼してください。指導教員様のメール受領をもって、無料化受付が完了します。メールには「教員様のお名前、ご所属、学生の方のお名前、ご所属先、メールアドレス」を明記してください。

③ ただし、指導教員様が非会員の場合は、「学生会員年会費無料化キャンペーン対象外」となり、通常の年会費5,000円が必要となりますので、ご注意ください。

④ 当該学生が卒業、就職などにて年度末（3月）退会の場合はお手数ですが、指導教員様より事務局にご連絡ください。

シニア会員について

正会員のうち、20年以上正会員を継続し、会費を完納している60歳以上であり、定常収入を有しない方は、理事会の承認によりシニア会員になることができます。申請／承認後、翌年度よりシニア会員となります。シニア会員の会費は7,200円です。

学会事務局までお問合せください。

特別会員について

正会員のうち、身体障害者手帳をお持ちの方は、その手帳の写しを事務局に提示していただくことにより、特別会員として年会費半額の免除制度があります。

メーリングリスト登録のご案内

OR学会ではメーリングリストを開設し、本学会ならびに各研究部会の主催する研究発表会・セミナーなどの催しに関する広報機能としてご利用いただいています。

新規にOR学会のご入会の方、未登録の方は、ご登録くださいますようご案内申し上げます。

アドレス変更の場合、ご自分で新アドレスの参加登録、旧アドレスの脱退手続きが必要です。OR学会会員情報の変更届けとは連動しておりませんので、ご注意ください。

詳しくは、学会WEBのメーリングリスト利用の手引きをご覧ください。

<http://www.orsj.or.jp/members/mlhowto.html>

年会費専用振込み口座

年会費（不課税）：正会員14,400円、

学生会員5,000円、

シニア会員7,200円

口座名：公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

ゆうちょ銀行：東京00190-6-79492

みずほ銀行：根津支店（店番号235）普通1124744

*手数料は払込人負担をお願いいたします。

*会員番号とお名前は必ずお書きください。

OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5

サン・チカビル7F

TEL: 03-3851-6100, FAX: 03-3851-6055

*各種お届けは、メールにてご連絡ください。

（住所／所属先／メールアドレス／OR誌送付先／学生会員→正会員への変更／退会届）

会員氏名と新旧の変更内容をお書きください。

学会事務局夏季休業のお知らせ

2014年8月4日（月）～8日（金）